

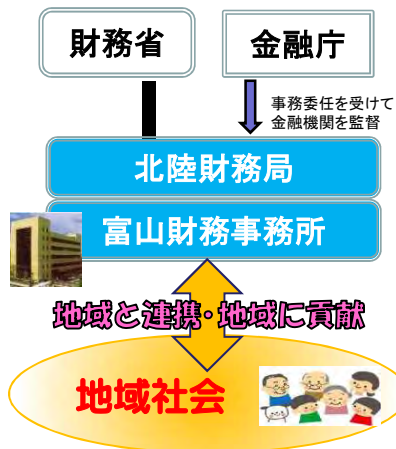
# 最近の富山県内の経済情勢等

北陸財務局富山財務事務所  
平成28年6月3日

# 目 次

1. 財務事務所の業務紹介等 (P 2～)
2. 最近の富山県内の経済情勢 (P 4)
3. 北陸新幹線の開業効果と課題 (P 5～)

# 富山財務事務所は 豊かな地域・社会づくりを支援するため 財務省・金融庁の仕事（地方業務）を行っています



財政や経済、金融のこと、  
もっと知ってみませんか？  
講師を無料で派遣いたします！  
夜間や土日、祝日も派遣します。

皆様の職場や学校、グループ  
での会議や研修会などご希望がありましたら、お気軽にご相談ください。

【連絡先】 総務課  
076(432)5521



**災害発生時** ～災害現地の査定立会 以外にも迅速に様々な対応～

## 財政の仕事 ～豊かで住みよい社会をつくるために～

- ◆災害現地の査定立会 地域の皆様の暮らしを守るため、災害で壊れた道路などの早期復旧に向け必要な補助金等を決定するための現地調査などの仕事をしています
- ◆公共事業への財政融資 地域の皆様の生活環境の向上のため、県や市町村の公共施設（学校・病院・上下水道など）の整備資金を融資するなどの仕事をしています

復旧前



復旧後



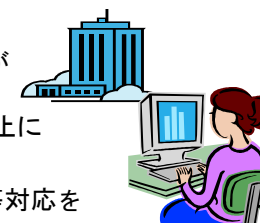
## 経済の仕事 ～地域の経済動向や情報を国の政策に活かすために～

- ◆経済情勢の調査 地域への財政等施策がよりしっかりと行われるように、また、地域の皆様に調査結果を広くご利用いただくため、県内の経済情勢等の情報収集、調査・分析・公表、財務省への速やかな報告などの仕事をしています



## 金融の仕事 ～健全な取引と利用者保護のために～

- ◆利用者の保護 地域の皆様が安心して取引ができるように、銀行・信用金庫・証券会社などの金融機関が健全で適切な業務を行うよう、監督などをする仕事をしています  
また、金融に関する知識の普及・向上に向けた活動や詐欺的な投資勧誘被害の未然防止に係る啓発を行っています
- ◆地域密着型金融の推進 地域への資金供給が円滑に行われるため、また地域の活性化のため、きめ細かな相談等対応を金融機関へ促すなど地域密着型金融の推進のための仕事をしています



## 国有財産の仕事 ～国民共有の財産の有効な活用のために～

- ◆国有財産の有効活用 地域の皆様の暮らしに役立つよう、公園（高岡古城公園・県庁前公園など）の敷地を県や市町村へ無償貸付（提供）を行うとともに、行政財産が効率的に使用されるための調整を行うなどの仕事をしています  
今後は、県や市町村との連携を深め、様々な公的施設の最適利用【エリアマネジメント】（国と市の庁舎の一体整備など）を推進していくこととしています



- ◆国が直接利用しなくなった財産の売却や貸付

地域でのまちづくりに利用いただくため、また税金以外の収入を確保するため、保育・介護・医療などの人々の安心につながる分野などでの売却・定期借地や、一般競争入札による売却などの仕事をしています



一般の方も  
国有地を購入する  
ことができます！

- ◆県や市町村の要請に応じ、応急施設等として利用可能な国有財産を提供します
- ◆金融機関に対し、預金や融資に係る特別な措置を要請します

# 財務局のネットワーク(参考)

- 財務局は、財務省の総合出先機関としてブロック単位に設置されており、9財務局(北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州)及び1財務支局(福岡)がある。
- また、財務局・財務支局の下に、40箇所 of 財務事務所、13箇所 of 出張所が設置されている。
- 沖縄県は、内閣府沖縄総合事務局財務部が財務局の業務を実施している。

全国計 4,665名(平成26年度末)

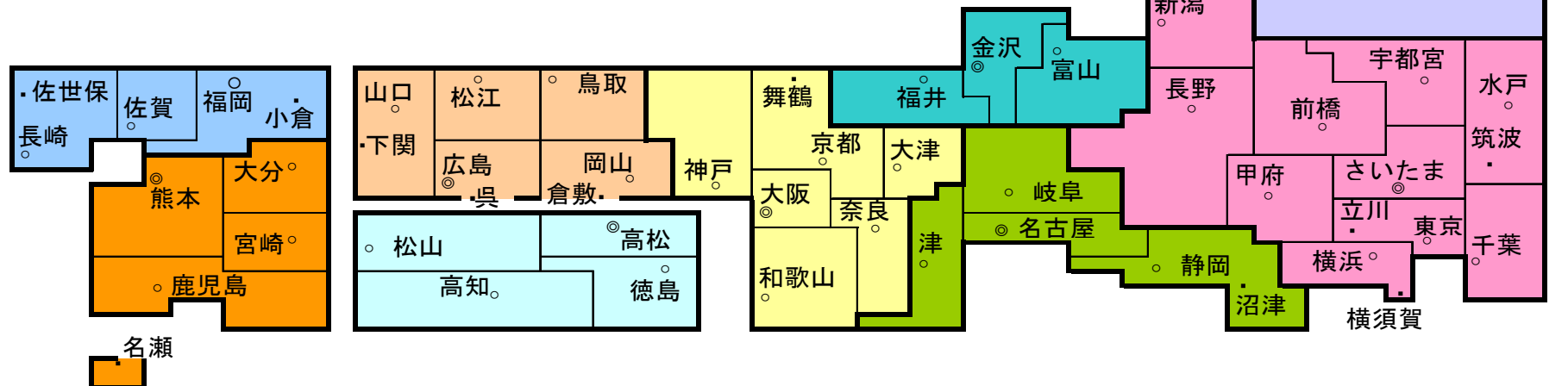
- ◎ 財務局 (9箇所)
- 財務支局 (1箇所)
- 財務事務所 (40箇所)
- ・ 出張所 (13箇所)

沖縄総合事務局財務部

□那覇(沖縄総合事務局財務部)

□平良(宮古財務出張所)

□石垣(八重山財務出張所)



## 富山県内経済情勢（平成28年4月判断）の主要項目と足下の状況

### 〇28年4月総括判断：総じて回復している。（前回判断を据置き）

- ・ **個人消費**：回復している（前回判断を据置き）  
百貨店・スーパー販売：回復している  
主要観光地の宿泊客数：好調
- ・ **住宅建設**：回復しつつある（前回判断を上方修正）
- ・ **生産**：緩やかに回復しつつある（前回判断を据置き）  
電気機械：横ばい  
化学（医薬品）：高水準の生産を続けている  
はん用・生産用・業務用機械：弱含んでいる  
金属製品（アルミ建材）：弱含んでいる
- ・ **雇用情勢**：着実に改善している（前回判断を据置き）  
有効求人倍率：高水準で推移している

#### ヒアリングで聞かれた生の声

##### 【個人消費】

- ・ 消費者の健康志向が強く、エゴマ油などの高品質な飲食物品の売行きが良かった。  
(百貨店・スーパー)
- ・ 以前から外国人観光客は多かったものの、北陸新幹線開業以降、より一層増加している。  
(観光地)

##### 【住宅建設】

- ・ 消費税率引上げに向けた駆け込みの動きが徐々に強まっているほか、日銀のマイナス金利導入による住宅ローン金利低下の影響により、受注が増加している。(ハウスメーカー)

##### 【生産】

- ・ 中国は景気の減速感が感じられ、大量に作るという状況ではなくなっているほか、旧正月後の受注も小さくなっている。(電気機械)
- ・ 28年4月以降は、素価改定により売価が下がることになる。一方で、需要が高まることとなるが、生産能力に限界があるので急激に生産量を増やすことができない。  
(化学（医薬品）)
- ・ マンション向けは前年並みであるが、ビル向け、商業用施設向けが減少している。28年度については、次回の消費税率引上げに向けた駆け込みにより前年を上回る見通しである。  
(金属製品)

〇先行き：企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、着実に回復を続けていくことが期待される。なお、海外景気の下振れなどが景気を下押しするリスクとなっているほか、人手不足に伴う企業活動への影響が懸念されることから、これらの動向に留意が必要である。また、平成28年（2016年）熊本地震の影響に注視する必要がある。

## 「富山県内経済情勢」の推移

項 目	前 回（28年1月）	変 化	今 回（28年4月）
概 況	総じて回復している	→	総じて回復している

個人消費	回復している	→	回復している
設備投資	27年度は増加見込み	→	27年度は増加見込み
住宅建設	緩やかに回復しつつある	↑	回復しつつある
公共事業	前年を下回っている	→	前年を下回っている
生産	緩やかに回復しつつある	→	緩やかに回復しつつある
企業収益	27年度は増益見込み	→	27年度は増益見込み
企業の景況感	27年10～12月期は「下降」超に転じている	→	28年1～3月期は「下降」超となっている
雇用情勢	着実に改善している	→	着実に改善している
金融機関の貸出金	前年を上回っている	→	前年を上回っている
企業倒産	件数、負債総額ともに前年を上回っている	→	件数、負債総額ともに前年を上回っている
消費者物価	前年を上回っている	→	前年を上回っている

(注1)28年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。  
(注2)表中矢印「↑」は上方修正、「↓」は下方修正、「→」は判断据え置きを表す。

# 北陸新幹線の開業効果と課題について

## 1-(1): 北陸新幹線開業効果

### ①北陸新幹線利用状況等(上越妙高～糸魚川間)

		利用者数 (万人)	前年比(%)	累計 (万人)	主なイベント等 (初となるもの)
27年	3月 (14日から)	49.0	273	49.0	3/14 北陸新幹線開業 3/30 朝の連続テレビ小説放送開始
	4月	68.6	321	117.6	4/24 かつやまディノパーク開園(福井) 4/29 観光列車「のと里山里海号」運行開始(石川)
	5月	89.8	346	207.4	5/3 金沢城プロジェクションマッピング(石川) 5/29 黒部峡谷パノラマ展望ツアー開始(富山)
	6月	75.0	322	282.4	6/25 新愛称「白山白川郷ホワイトロード」通行料半額 引き下げ開始(石川)
	7月	75.7	305	358.1	7/1 金沢一斉バーゲン開始(夏)
	8月	91.9	264	450.0	8/22 TOYAMAきりり全館開業
	9月	82.0	308	532.0	9/19～ シルバーウィーク
	10月	90.0	319	622.0	10/1 北陸デスティネーションキャンペーン開始(※) 10/3 観光列車「花嫁のれん」運行開始(石川) 10/10 観光列車「べるもんた」運行開始(富山)
	11月	86.7	319	708.7	11/1 富山マラソン 11/3～8 国際青年会議所(JCI)世界会議金沢大会 11/15 金沢マラソン
	12月	66.1	282	774.8	
28年	1月	61.2	241	836.0	1/2 金沢一斉バーゲン開始(冬) 1/9 富山県射水市を舞台にした映画上映開始
	2月	61.7	265	897.7	2/12 新幹線沿線5県アンテナショップキャンペーン開始
	3月 (13日まで)	28.1	237	925.8	
合計		925.8	295		

【出所】利用者数: JR西日本金沢支社

【備考】前年比は在来線特急「はくたか・北越」(直江津～糸魚川間)の利用実績との比較。

### ※北陸デスティネーションキャンペーン(H27.10.1～12.31)

- ・北陸3県、北陸経済連合会、JRグループ6社が共同で行った観光キャンペーン。
- ・各種イベントの開催、ガイドブック等の作成、コンビニとのタイアップ弁当の販売、JR利用者へのプレゼント企画等により、上半期(4～9月)の勢いを10月以降も維持。

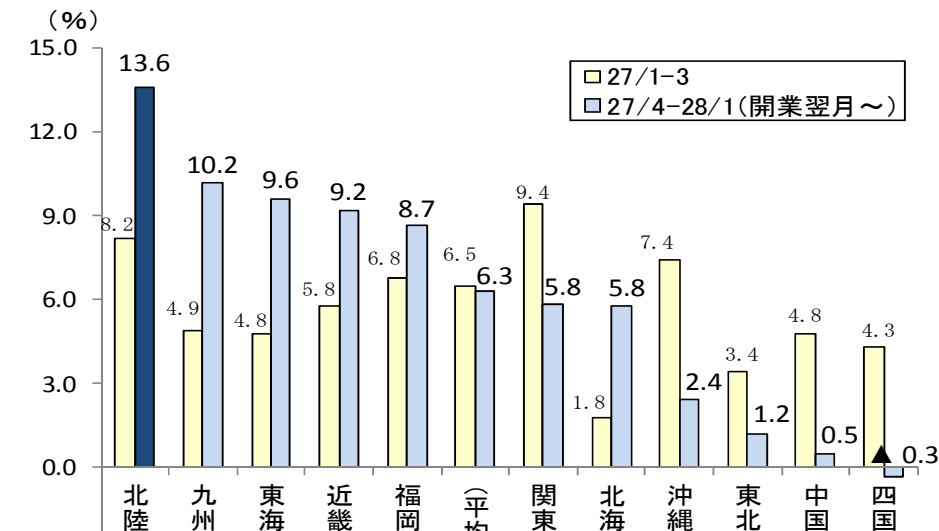
宿泊場所	宿泊者数前年比(%)	
	4～9月	10～12月
和倉温泉	124.3	120.5
加賀四温泉計	114.2	112.3
金沢市内主要6ホテル計	122.9	123.0
宇奈月温泉	137.6	136.3
あわら温泉	123.4	113.7

観光地	入込客数前年比(%)	
	4～9月	10～12月
兼六園	146.5	168.3
黒部峡谷鉄道	116.6	124.2
一乗谷朝倉氏遺跡	168.4	125.6

【出所】北陸DC実行委員会

## ②開業による延べ宿泊者数の変化

【図表1】延べ宿泊者数の増加率(対前年同期比)

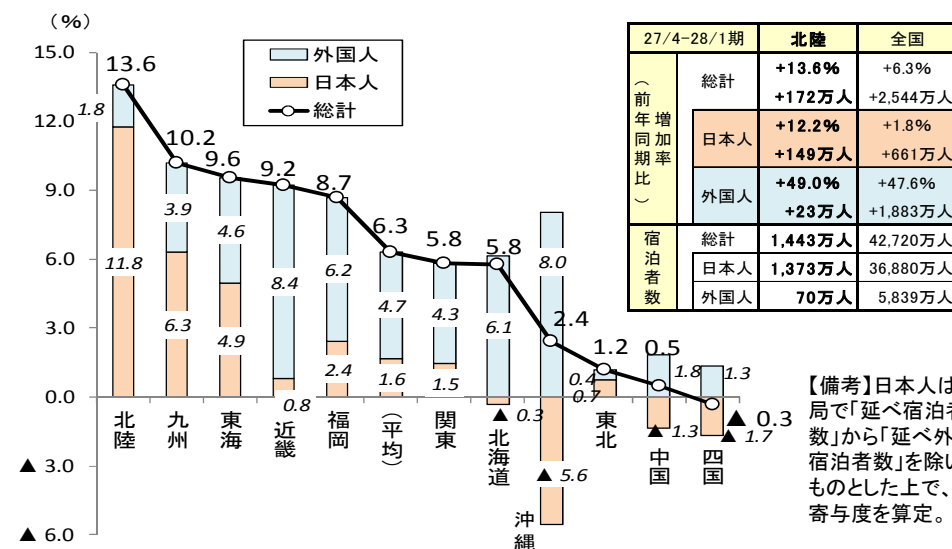


▲ 3.0 【出所】観光庁「宿泊旅行統計調査」(図表2も同じ)

【備考】27/4-28/1期は、当局で27年4月～28年1月の各月を合算し、算定。

なお、各地区財務局別の増加率は当局算定(図表2も同じ)。

【図表2】増加率の国別寄与度(対前年同期比)

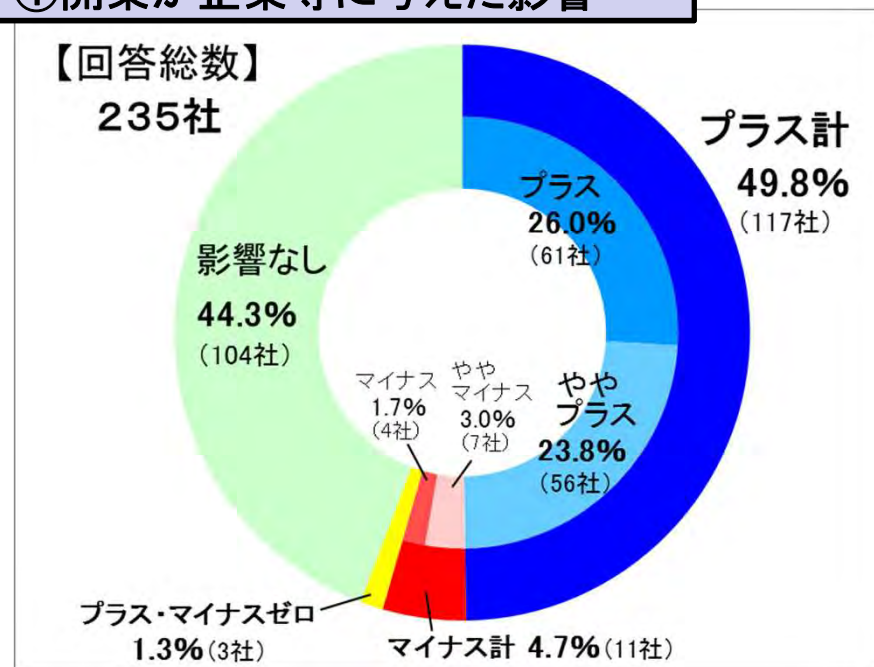


【備考】日本人は、当局で「延べ宿泊者数」から「延べ外国人宿泊者数」を除いたものとした上で、各寄与度を算定。

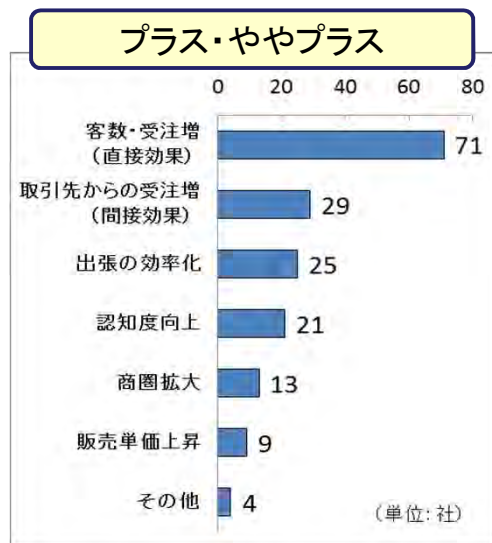


## 1-(2): 北陸新幹線開業効果

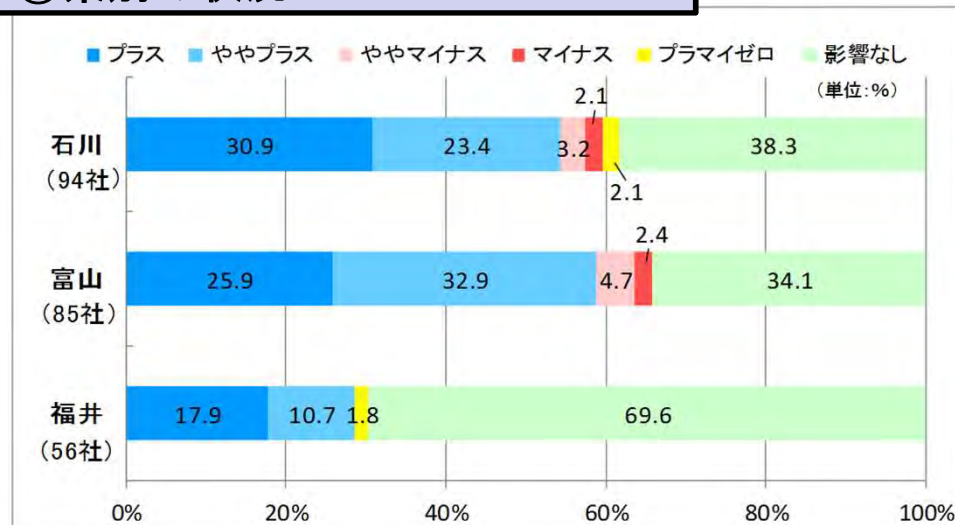
### ①開業が企業等に与えた影響



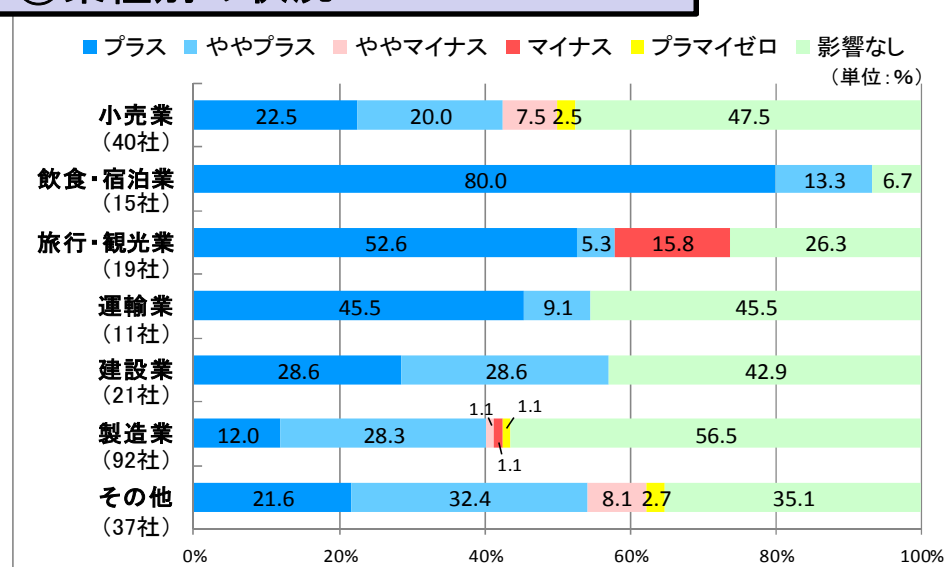
### ②影響の内容



### ③県別の状況



### ④業種別の状況



【備考1】北陸管内の企業(事業所・店舗含む)や協会等に聞き取りにより調査(H28.2-4月)。

【備考2】①については、プラスとマイナスをトータルした上での影響。

【備考3】②については、複数回答可とした上で、プラスとマイナス双方の影響がある場合は、どちらの影響もカウントしている。